

# 火の用心 習慣と対策



これから冬が近づくと、空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節となります。また、ストーブなどの暖房器具を使う機会が増えるため、火災につながる危険性も大きくなります。

私たちの生活に不可欠な火の始末を確実にすることが、火災から命と財産を守る最も簡単で有効な方法です。

今回は火災から命や財産を守るために大切な、3つの習慣と4つの対策を紹介します。以下のポイントを意識し防火意識の向上に努めましょう。

## 3つの習慣

1. 寝たばこは絶対にやめる。
  2. ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
  3. ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 3つとも当たり前前に思えるかもしれませんが、「つい、うっかり」ということがないように、しっかりと心に留めておきましょう。

## 4つの対策

1. 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
2. 寝具、カーテンなどからの火災を防ぐために、防火品を使用する。
3. 火災を小さなうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
4. お年寄りや身体の不自由な方を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅火災では、多くの命が失われており、その半数以上が逃げ遅れによるものです。また、死亡者の約7割が65歳以上の高齢者となっています。きちんと対策を取ることが重要です。

## 地域おこし協力隊 新メンバーからの ごあいさつ

よろしく  
お願いします♪



今年9月1日から**地域おこし協力隊**として活動させていただいている、**末近亮平**(すえちかりょうへい)です。

愛知県出身の38歳、前職はバイクの整備士でした。

家の改装や家具などをDIYで作ったり、米づくり、保存食、自然を利用したくらしの知恵などに興味があります。

空き家バンクを利用して久田見に住宅を購入し、妻と娘2人の4人家族で暮らしています。

正藍染めの工房と洋服や日用品の販売を行うお店を町内に出し、そこを拠点に人が集うような活動もしていきたいと考えていて、現在は主に起業に向けて、藍の畑の準備や作業環境の整備や活動計画を練ったりしています。

徐々に活動が町内のみなさまに知れ渡るように、家族で地域に根を張ってがんばっていきたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



娘をおんぶして畑仕事。藍の畑を作っています。